令和９年度　海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号　市４
船橋市立船橋高等学校　全日制の課程　普通科

１　選抜資料

⑴学力検査	３教科の学力検査の得点
⑵調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑶学校設定検査(自己表現)	次のア・イのいずれかを，出願時に志願者が選択。 ア　口頭による自己表現 日本語による自己アピールあるいは英語による自己アピール。 実施形態：個人で発表　検査時間：２分 イ　実技による自己表現 次の種目のうち一つを選択。 ソフトボール・陸上競技（長距離）・陸上競技（短距離） バスケットボール・サッカー・バレーボール・剣道・柔道 体操競技・基礎的運動・吹奏楽管弦楽 実施形態：個人で発表　検査時間：２分
⑷海外在住状況説明書	実施要項（様式６）により，海外在住期間及びその前後の教育歴等を説明したもの

２　評価項目及び評価基準

⑴学力検査〔３００点満点〕

評価項目	評　価　基　準
３教科の得点合計	３教科（各教科１００点満点）の合計３００点満点で評価する。

⑵調査書〔１７５点満点〕アの数値に，イについて加点（上限４０点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評　価　基　準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK＝１を乗じた数値で評価する。
イ　特記事項	３級以上の英語検定について加点する。

⑶自己表現〔３６点満点〕

次のア，イについて，それぞれ２名の評価者が，２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。

ｖを９点，ｓを７点，ａを５点，ｂを２点，ｃを１点とし，２名の評価者の評価（各１８点満点）を合計し，得点化する。

ア　口頭による自己表現

評価項目	評　価　基　準
㋐表現内容	自己の経験や今後の取り組みについて，しっかりと表現できている。
㋑意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

イ　実技による自己表現

評価項目	評　価　基　準
㋐表現内容	基礎的及び専門的な能力を身に付けている。
㋑意欲・将来性	意欲的に表現している。将来にわたり活躍を期待できる。

⑷海外在住状況説明書

評価項目	評　価　基　準
記載内容	応募資格があることを確認する。

３　選抜方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況説明書等の書類の審査並びに学力検査の成績及び面接の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。